



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ

コード番号 7173 URL <https://www.tokyo-kiraboshifg.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）渡邊 壽信

問合せ先責任者 （役職名）取締役 執行役員 経営企画部長 （氏名）川角 明大 TEL 03-6447-5799

配当支払開始予定日 ー

特定取引勘定設置の有無 無

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満、小数点第1位未満は切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	51,098	31.5	12,061	44.7	8,121	40.8
2026年3月期第1四半期	38,854	0.0	8,332	△13.7	5,765	△11.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 14,803百万円（37.0％） 2026年3月期第1四半期 10,804百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	30.99	26.77
2026年3月期第1四半期	23.85	16.99

（注）当社は、2026年6月30日を基準日、7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき8株の割合で株式分割を実施いたしました。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	7,544,298	395,324	5.2
2026年3月期	7,317,357	423,440	5.7

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 395,247百万円 2026年3月期 423,369百万円

（注）自己資本とは、期末純資産の部合計から期末新株予約権及び期末非支配株主持分を控除した金額であり、「自己資本比率」は自己資本を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示（2006年金融庁告示第20号）に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期 （株式分割後で換算した配当金）	ー	85.00	ー	85.00	170.00
2027年3月期	(一)	(10.62)	(一)	(10.62)	(21.25)
2027年3月期（予想）		15.00	ー	15.00	30.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、第1回第一種優先株式の全部について2026年5月19日付及び2026年5月27日付にて普通株式を対価とする取得請求権が行使されたことに伴い、普通株式が5,498,532株増加いたしました。また、2026年6月30日を基準日、7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき8株の割合で株式分割を実施いたしました。

3. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	26,100	△5.5	17,700	△7.9	64.88
通期	58,600	△3.1	40,000	△5.5	143.11

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 予想1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した第1回第一種優先株式の普通株式への転換及び株式分割の影響を考慮しております。

なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期（累計）で519円8銭、通期で1,144円88銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 （四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 （会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	289,189,176株	2026年3月期	245,200,920株
②期末自己株式数	2027年3月期1Q	2,951,088株	2026年3月期	2,934,000株
③期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	262,065,287株	2026年3月期1Q	241,801,768株

（注）1. 当社は、株式交付信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

2. 当社は、2026年6月30日を基準日、7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき8株の割合で株式分割を実施いたしました。期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算出しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る 1 株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第 1 回第一種優先株式)

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2026 年 3 月期	円 —	円 193.00	円 —	円 193.00	円 386.00
2027 年 3 月期	—	—	—	—	—
2027 年 3 月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 1 株当たりの払込金額 20,000円

3. 1 株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

2026 年 3 月期

① 算式

配当金 = 1 株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率 (※)

配当年率 = 日本円 T I B O R + 1.1%

③ 日本円 T I B O R

2025 年 4 月 1 日における日本円 T I B O R (12 ヶ月物) = 0.82818%

④ 発行済株式数

750,000 株

4. 2026 年 5 月 27 日付、第 1 回第一種優先株式の全てを消却しております。

※ 配当年率は、%未満小数第 3 位まで算出し、その小数第 3 位を四捨五入

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
2026 年 3 月期	円 —	円 82.818	円 —	円 82.818	円 165.636
2027 年 3 月期	—	—	—	—	—
2027 年 3 月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 1 株当たりの払込金額 20,000円

3. 1 株当たり配当金の算定の基礎となる計数及び算式

2026 年 3 月期

① 算式

配当金 = 1 株当たりの払込金額 × 配当年率

② 配当年率

配当年率 = 日本円 T I B O R + 0.0%

③ 日本円 T I B O R

2025 年 4 月 1 日における日本円 T I B O R (12 ヶ月物) = 0.82818%

④ 発行済株式数

2,000,000 株

4. 2026 年 5 月 25 日付、第二種優先株式の全てを消却しております。

【添付資料の目次】

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表	3～4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5～6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7～9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	10
(重要な後発事象の注記)	10

3. 2027年3月期第1四半期決算説明資料

(1) 損益の状況	11～12
(2) ROE	13
(3) OHR	13
(4) 自己資本比率（国内基準）	14～15
(5) リスク管理債権及び金融再生法開示債権	16～17
(6) 貸出金・預金残高等の状況	18～20
(7) 時価のある有価証券の評価損益	21

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、連結業績の大宗を占めるきらぼし銀行の経常利益が110億円（前年同期比+32億円）、四半期純利益は75億円（同比+20億円）となりましたが、内部取引の消去など連結決算上の調整を行ったことにより、経常利益が120億円（前年同期比+37億円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は81億円（同比+23億円）となりました。

なお、きらぼし銀行の経営成績における主な増減要因（同期比）は、以下のとおりです。

貸出金利息※1 : メイン化取引の推進、お客さまとのリレーション強化の取組みにより、貸出金が増加、また、政策金利上昇の影響等により貸出金利回りも上昇し、前年同期比+29億円。

有価証券利息配当金 : ファンド収益の増加（+5億円）等により同比+6億円。

その他資金利益 : 金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比△19億円。

非金利収益※2 : 円債のヘッジコストが減少したこと等により同比+26億円。

経費 : 事務委託費等物件費の増加等により同比△3億円。

与信関係費用 : 一部大口先の信用悪化等による貸倒引当金の計上により同比△13億円。

債券・株式等関係損益 : 債券の売却損が増加した一方、純投資株式の売却益が増加し同比+7億円。

※1. 貸出金利息には実質無利子・無担保融資等自治体から事後的に補給される利子補給金が含まれております。

※2. 非金利収益は、コア業務粗利益を構成する計数のうち、資金利益を除いたものです。

（非金利収益＝信託報酬＋役務取引等利益＋その他業務利益（国債等債券損益を除く））

※3. 上表の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「△」で表示しております。

経営成績の概況の詳細につきましては、添付資料22ページ「東京きらぼしフィナンシャルグループ 2027年3月期第1四半期 決算概要」をご覧ください。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比2,269億円増加し7兆5,442億円となり、純資産は自己株式の取得及び消却等により、前連結会計年度末比281億円減少し3,953億円となりました。

主要な勘定残高につきましては、預金は前連結会計年度末比1,383億円増加し6兆3,237億円、貸出金は前連結会計年度末比872億円増加し5兆3,647億円、有価証券は前連結会計年度末比1,633億円増加し1兆413億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月8日に公表いたしました2027年3月期の業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
現金預け金	826,022	792,517
コールローン及び買入手形	8,709	10,082
買入金銭債権	67,755	61,845
商品有価証券	1,396	1,383
金銭の信託	6,434	6,559
有価証券	878,090	1,041,398
貸出金	5,277,513	5,364,791
外国為替	5,683	7,294
リース債権及びリース投資資産	35,126	35,018
その他資産	100,433	113,960
有形固定資産	58,976	58,544
無形固定資産	14,999	14,895
退職給付に係る資産	50,529	51,222
繰延税金資産	1,833	1,914
支払承諾見返	7,581	8,223
貸倒引当金	△23,728	△25,353
資産の部合計	7,317,357	7,544,298
負債の部		
預金	6,185,446	6,323,795
譲渡性預金	403,200	345,200
コールマネー及び売渡手形	26,879	11,299
債券貸借取引受入担保金	108,051	289,675
借入金	61,646	60,494
外国為替	816	1,724
社債	2,940	2,630
その他負債	92,175	99,325
賞与引当金	1,957	554
役員賞与引当金	234	—
株式報酬引当金	485	485
退職給付に係る負債	89	92
役員退職慰労引当金	111	99
ポイント引当金	95	113
睡眠預金払戻損失引当金	57	48
偶発損失引当金	855	855
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	1,294	4,356
支払承諾	7,581	8,223
負債の部合計	6,893,917	7,148,974

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
資本金	27,500	27,500
資本剰余金	151,099	111,099
利益剰余金	235,927	241,148
自己株式	△1,181	△1,203
株主資本合計	413,344	378,544
その他有価証券評価差額金	△17,624	△13,480
繰延ヘッジ損益	9,974	12,968
土地再評価差額金	△242	△242
為替換算調整勘定	57	63
退職給付に係る調整累計額	17,860	17,394
その他の包括利益累計額合計	10,025	16,703
新株予約権	9	9
非支配株主持分	60	67
純資産の部合計	423,440	395,324
負債及び純資産の部合計	7,317,357	7,544,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
経常収益	38,854	51,098
資金運用収益	25,665	31,423
(うち貸出金利息)	20,790	24,559
(うち有価証券利息配当金)	3,577	5,179
信託報酬	62	69
役務取引等収益	6,418	7,485
その他業務収益	603	1,351
その他経常収益	6,104	10,768
経常費用	30,522	39,036
資金調達費用	5,812	8,616
(うち預金利息)	4,680	6,494
役務取引等費用	973	1,044
その他業務費用	1,637	3,964
営業経費	17,211	17,650
その他経常費用	4,888	7,760
経常利益	8,332	12,061
特別利益	117	—
固定資産処分益	117	—
特別損失	8	0
固定資産処分損	8	0
税金等調整前四半期純利益	8,441	12,061
法人税等	2,676	3,935
四半期純利益	5,765	8,125
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,765	8,121

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	5,765	8,125
その他の包括利益	5,039	6,677
その他有価証券評価差額金	6,041	4,118
繰延ヘッジ損益	342	2,994
為替換算調整勘定	△6	6
退職給付に係る調整額	△1,342	△465
持分法適用会社に対する持分相当額	4	24
四半期包括利益	10,804	14,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,804	14,799
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	3

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

「金融商品会計に関する実務指針」（移管指針第9号 2025年3月11日。以下「改正金融商品実務指針」といいます。）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより、改正金融商品実務指針の第132-2項を適用し、同項に規定する要件を満たす組合等の構成資産に含まれる市場価格のない株式（当社の子会社株式及び関連会社株式を除く）について時価をもって評価し、組合等への出資の会計処理の基礎としております。

また、改正金融商品実務指針の適用については、第205-2項に定める経過的な取扱いに従っており、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の処理）

連結財務諸表作成における税金費用は、当社及び連結子会社の当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

１．報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	31,950	3,670	35,621	3,288	38,909
セグメント間の内部経常収益	114	211	325	4,694	5,020
計	32,065	3,882	35,947	7,983	43,930
セグメント利益	8,034	94	8,129	3,130	11,259

（注）１．一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

２．「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス業、コンピュータ関連サービス業、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（１）報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

（単位：百万円）

経常収益	金額
報告セグメント計	35,947
「その他」の区分の経常収益	7,983
パーチェス法による調整	△54
セグメント間取引消去	△5,020
四半期連結損益計算書の経常収益	38,854

（注）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額
(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,129
「その他」の区分の利益	3,130
パーチェス法による調整	△86
セグメント間取引消去	△2,840
四半期連結損益計算書の経常利益	8,332

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	42,418	3,899	46,317	4,798	51,116
セグメント間の内部経常収益	175	243	419	53,312	53,732
計	42,593	4,143	46,737	58,111	104,848
セグメント利益	11,148	149	11,297	51,813	63,111

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンサルティングサービス業、コンピュータ関連サービス業、情報提供サービス業、クレジットカード業及び債権管理回収業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と四半期連結損益計算書の経常収益計上額

（単位：百万円）

経常収益	金額
報告セグメント計	46,737
「その他」の区分の経常収益	58,111
パーチェス法による調整	△18
セグメント間取引消去	△53,732
四半期連結損益計算書の経常収益	51,098

（注） 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と四半期連結損益計算書の経常利益計上額

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	11,297
「その他」の区分の利益	51,813
パーチェス法による調整	△50
セグメント間取引消去	△50,999
四半期連結損益計算書の経常利益	12,061

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2026年5月8日開催の取締役会決議に基づき、2026年5月25日付で自己株式2,000,000株を取得し、同日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施したことにより、資本剰余金が40,000百万円減少いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が111,099百万円、自己株式が1,203百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,850百万円	1,860百万円
のれんの償却額	125百万円	125百万円

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

3. 2027年3月期第1四半期決算説明資料

（1）損益の状況

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ

【連結】

2027年3月期第1四半期の経常収益は、前年同期比12,243百万円増加の51,098百万円、経常利益は前年同期比3,728百万円増加の12,061百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2,356百万円増加の8,121百万円となりました。

（単位：百万円）

		2026年 6月期	2025年 6月期比	2025年 6月期
経常収益	1	51,098	12,243	38,854
業務粗利益	2	26,704	2,376	24,328
（除く国債等債券損益（5勘定戻））	3	(29,889)	(5,963)	(23,926)
資金利益	4	22,806	2,953	19,853
信託報酬	5	69	7	62
役務取引等利益	6	6,441	995	5,445
その他業務利益	7	△2,613	△1,579	△1,033
経費（除く臨時処理分）	8	18,337	720	17,616
与信関係費用	9	1,754	1,281	473
株式等関係損益	10	4,282	3,497	784
持分法による投資損益	11	3	1	1
その他	12	1,163	△145	1,308
経常利益	13	12,061	3,728	8,332
特別損益	14	△0	△109	109
税金等調整前四半期純利益	15	12,061	3,619	8,441
法人税等	16	3,935	1,259	2,676
四半期純利益	17	8,125	2,359	5,765
非支配株主に帰属する四半期純利益及び非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	18	3	3	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	19	8,121	2,356	5,765

② きらぼし銀行

【単体】

2027年3月期第1四半期の単体業績は、金利上昇に伴う預金利息が増加するも、メイン化取引の推進やお客さまとのリレーション強化の取組み等による貸出金利息の増加に加え、ファンド収益、純投資株式の売却益が増加したこと等により、経常利益が前年同期比3,223百万円増加の11,039百万円、四半期純利益は前年同期比2,048百万円増加の7,559百万円となりました。

（単位：百万円）

		2026年 6月期	2025年 6月期比	2025年 6月期
経常収益	1	39,668	9,469	30,199
業務粗利益	2	22,445	1,391	21,054
（除く国債等債券損益（5勘定戻））【コア業務粗利益】	3	(25,339)	(4,354)	(20,985)
資金利益	4	21,795	1,665	20,129
信託報酬	5	69	7	62
役務取引等利益	6	2,972	588	2,384
その他業務利益	7	△2,392	△870	△1,521
経費（除く臨時処理分）	8	14,709	335	14,373
人件費	9	5,586	△77	5,663
物件費	10	7,811	403	7,408
税金	11	1,311	9	1,301
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）【実質業務純益】	12	7,736	1,055	6,680
（除く国債等債券損益（5勘定戻））【コア業務純益】	13	(10,629)	(4,018)	(6,611)
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	14	(11,044)	(4,456)	(6,587)
一般貸倒引当金繰入額 ①	15	4	7	△3
業務純益	16	7,731	1,047	6,684
（うち国債等債券損益（5勘定戻））	17	(△2,893)	(△2,963)	(69)
臨時損益	18	3,307	2,175	1,131
不良債権処理額 ②	19	1,619	1,302	317
貸出金償却	20	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額	21	1,533	1,344	188
債権売却損（△：益）	22	—	—	—
偶発損失引当金繰入額	23	0	△25	26
信用保証協会責任共有制度負担金	24	73	△21	95
その他不良債権処理額	25	11	4	7
貸倒引当金戻入益 ③	26	—	—	—
償却債権取立益	27	0	△0	0
株式等関係損益	28	4,473	3,688	784
その他臨時損益	29	453	△210	663
経常利益	30	11,039	3,223	7,816
特別損益	31	△0	△111	111
税引前四半期純利益	32	11,039	3,111	7,928
法人税等	33	3,479	1,063	2,416
四半期純利益	34	7,559	2,048	5,511
与信関係費用 ①+②-③	35	1,623	1,309	313

【連結】

（単位：百万円）

		2026年 6月期	2025年 6月期比	2025年 6月期
経常収益	36	41,584	10,378	31,206
経常利益	37	11,311	3,570	7,741
親会社株主に帰属する四半期純利益	38	7,715	2,311	5,404

（２）ＲＯＥ

東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

（単位：％）

	2026年 6月期	2025年 6月期比	2025年 6月期
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.95	1.79	6.16

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本＋期末自己資本）÷2 で算出しております。

きらぼし銀行【単体】

（単位：％）

	2026年 6月期	2025年 6月期比	2025年 6月期
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	8.20	0.71	7.49
業務純益ベース	8.20	0.70	7.50
コア業務純益ベース	11.27	3.86	7.41
四半期純利益ベース	8.02	1.83	6.18

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本＋期末自己資本）÷2 で算出しております。

きらぼし銀行【連結】

（単位：％）

	2026年 6月期	2025年 6月期比	2025年 6月期
業務純益ベース（一般貸倒引当金繰入前）	7.84	1.14	6.70
業務純益ベース	7.84	1.13	6.70
コア業務純益ベース	10.72	4.09	6.62
親会社株主に帰属する四半期純利益ベース	7.68	1.88	5.79

（注）分母となる自己資本平均残高は、（期首自己資本＋期末自己資本）÷2 で算出しております。

（３）ＯＨＲ

きらぼし銀行【単体】

（単位：％）

	2026年 6月期	2025年 6月期比	2025年 6月期
コア業務粗利益ベース	58.05	△10.44	68.49
業務粗利益ベース	65.53	△2.73	68.26

（注）
$$OHR = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}} \times 100$$

（４）自己資本比率（国内基準）

①東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2026年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	8.56	△0.97	9.54
(2) 自己資本	353,461	△32,205	385,666
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	378,544	△31,899	410,443
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	4,011	7	4,004
(3) リスク・アセット等	4,124,503	85,965	4,038,537
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	164,980	3,438	161,541

②きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2026年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	9.00	△0.10	9.10
(2) 自己資本	343,457	△885	344,342
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	361,633	△440	362,073
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	3,780	△0	3,781
(3) リスク・アセット等	3,815,128	33,833	3,781,294
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	152,605	1,353	151,251

③きらぼし銀行【連結】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2026年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	9.08	△0.10	9.18
(2) 自己資本	348,848	△473	349,322
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	368,640	△284	368,925
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	3,864	△1	3,866
(3) リスク・アセット等	3,839,609	37,996	3,801,612
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	153,584	1,519	152,064

④U I 銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2026年 3月末
(1) 自己資本比率 (2) ÷ (3)	7.76	1.17	6.59
(2) 自己資本	25,599	7,908	17,691
(イ) うち普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	28,427	8,053	20,373
(ロ) うちコア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	79	24	54
(3) リスク・アセット等	329,609	61,227	268,381
(4) 総所要自己資本額 (3) × 4％	13,184	2,449	10,735

（注）「自己資本比率」は、2006年金融庁告示第19号及び第20号に基づき算出しております。

また、信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては標準的計測手法を採用しております。

（５）リスク管理債権及び金融再生法開示債権

① きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,031	2,990	△339	12,041	15,370
危険債権	66,924	△2,263	△2,780	69,188	69,704
要管理債権	6,235	797	84	5,438	6,150
三月以上延滞債権額	63	9	△171	53	234
貸出条件緩和債権額	6,172	787	256	5,384	5,915
小計 (A)	88,191	1,523	△3,034	86,667	91,226
正常債権	4,979,555	24,761	55,493	4,954,794	4,924,061
総与信残高 (B)	5,067,747	26,284	52,459	5,041,462	5,015,287
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	1.74	0.02	△0.07	1.71	1.81

② ＵＩ銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	37	5	30	32	7
危険債権	93	4	93	89	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	131	9	124	121	7
正常債権	330,639	61,947	211,376	268,691	119,262
総与信残高 (B)	330,770	61,956	211,501	268,813	119,269
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.03	△0.00	0.03	0.04	0.00

（注）きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

部分直接償却を実施した場合

① きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,009	165	△1,542	4,844	6,551
危険債権	66,924	△2,263	△2,780	69,188	69,704
要管理債権	6,235	797	84	5,438	6,150
三月以上延滞債権額	63	9	△171	53	234
貸出条件緩和債権額	6,172	787	256	5,384	5,915
小計 (A)	78,169	△1,301	△4,237	79,471	82,407
正常債権	4,979,555	24,761	55,493	4,954,794	4,924,061
総与信残高 (B)	5,057,725	23,459	51,256	5,034,265	5,006,468
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	1.54	△0.03	△0.10	1.57	1.64

② UI銀行【単体】

（単位：百万円、％）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	37	5	30	32	7
危険債権	93	4	93	89	—
要管理債権	—	—	—	—	—
三月以上延滞債権額	—	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—	—
小計 (A)	131	9	124	121	7
正常債権	330,639	61,947	211,376	268,691	119,262
総与信残高 (B)	330,770	61,956	211,501	268,813	119,269
総与信残高に占める割合 (A)÷(B)	0.03	△0.00	0.03	0.04	0.00

（注）きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(6) 貸出金・預金残高等の状況

① 貸出金の状況

(1) きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
貸出金（末残） （除く特別国際金融取引勘定） (A)	5,038,625 (5,038,625)	24,100 (24,100)	54,771 (54,771)	5,014,524 (5,014,524)	4,983,854 (4,983,854)
中小企業等貸出金 (B)	3,972,274	334	188	3,971,939	3,972,086
うち消費者ローン	621,979	△13,736	△44,182	635,715	666,162
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	78.83	△0.37	△0.86	79.20	79.69

(2) U I 銀行【単体】

(単位：百万円、%)

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
貸出金（末残） （除く特別国際金融取引勘定） (A)	330,511 (330,511)	61,870 (61,870)	211,321 (211,321)	268,640 (268,640)	119,189 (119,189)
中小企業等貸出金 (B)	330,511	61,870	211,321	268,640	119,189
うち消費者ローン	330,511	61,870	211,321	268,640	119,189
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	100.00	—	—	100.00	100.00

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

(3) きらぼし銀行及びU I 銀行の合算

(単位：百万円、%)

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
貸出金（末残） （除く特別国際金融取引勘定） (A)	5,369,136 (5,369,136)	85,971 (85,971)	266,092 (266,092)	5,283,165 (5,283,165)	5,103,044 (5,103,044)
中小企業等貸出金 (B)	4,302,785	62,205	211,509	4,240,580	4,091,276
うち消費者ローン	952,490	48,134	167,138	904,355	785,352
中小企業等貸出比率 (B)÷(A)	80.13	△0.12	△0.03	80.26	80.17

(注) きらぼし銀行に対する貸出金は上表に含めておりません。

② 預金の状況

（１）きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
預金（未残）	5,550,640	144,614	△159,006	5,406,026	5,709,646
個人預金	2,873,786	△5,181	△47,442	2,878,968	2,921,229
法人預金	2,403,983	72,843	23,800	2,331,140	2,380,182
その他預金	272,870	76,952	△135,364	195,917	408,234

（２）ＵＩ銀行【単体】

（単位：百万円）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
預金（未残）	794,890	△11,098	53,629	805,988	741,261
個人預金	761,959	△2,691	20,698	764,651	741,261
法人預金	32,930	△8,406	32,930	41,337	—

（注）ＵＩ銀行では2025年7月より法人預金の取り扱いを開始しております。

（３）きらぼし銀行及びＵＩ銀行の合算

（単位：百万円）

	2026年 6月末	2026年 3月末比	2025年 6月末比	2026年 3月末	2025年 6月末
預金（未残）	6,345,530	133,515	△105,376	6,212,014	6,450,907
個人預金	3,635,746	△7,873	△26,743	3,643,619	3,662,490
法人預金	2,436,913	64,436	56,730	2,372,477	2,380,182
その他預金	272,870	76,952	△135,364	195,917	408,234

（注）ＵＩ銀行では2025年7月より法人預金の取り扱いを開始しております。

③ 預かり資産残高

（１）きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円）

	2026年 6月末	2026年 3月末比		2026年 3月末	2025年 6月末
		2026年 3月末比	2025年 6月末比		
預かり資産	475,565	21,667	46,257	453,898	429,308
投資信託	174,332	17,575	27,402	156,756	146,930
生命保険	282,976	1,904	14,495	281,072	268,480
公共債	18,257	2,187	4,359	16,069	13,897

（２）きらぼしライフデザイン証券

（単位：百万円）

	2026年 6月末	2026年 3月末比		2026年 3月末	2025年 6月末
		2026年 3月末比	2025年 6月末比		
預かり資産	533,070	57,576	226,881	475,494	306,189
投資信託	436,343	47,319	158,888	389,023	277,454
生命保険	164	164	164	—	—
公共債	634	△4	413	638	220
その他	95,928	10,095	67,414	85,832	28,514

（注）きらぼしライフデザイン証券では2026年4月より生命保険の取り扱いを開始しております。

（３）きらぼし銀行及びきらぼしライフデザイン証券の合算

（単位：百万円）

	2026年 6月末	2026年 3月末比		2026年 3月末	2025年 6月末
		2026年 3月末比	2025年 6月末比		
預かり資産	1,008,636	79,243	273,138	929,392	735,497
投資信託	610,675	64,895	186,290	545,780	424,384
生命保険	283,140	2,068	14,659	281,072	268,480
公共債	18,891	2,183	4,773	16,707	14,118
その他	95,928	10,095	67,414	85,832	28,514

（注）きらぼしライフデザイン証券では2026年4月より生命保険の取り扱いを開始しております。

④ 信託業務

きらぼし銀行【単体】

（単位：百万円）

		2026年 6月期	2026年 3月期比		2026年 3月期	2025年 6月期
			2026年 3月期比	2025年 6月期比		
公共工事代金債権信託	取扱金額	6,181		△3,551	57,011	9,732
	期末残高	42,589	△8,175	13,578	50,764	29,010
不動産管理信託	取扱金額	6,584		4,830	19,669	1,753
	期末残高	131,653	7,943	23,122	123,709	108,530
その他	取扱金額	2		△3	815	6
	期末残高	4,674	△52	3,858	4,726	815
合計	取扱金額	12,768		1,275	77,495	11,492
	期末残高	178,917	△284	40,560	179,201	138,356

（注）取扱金額は算定期間が異なるため、2026年3月期比は記載しておりません。

(7) 時価のある有価証券の評価損益

① 東京きらぼしフィナンシャルグループ【連結】

(単位：百万円)

	2026年6月末				2025年6月末		
	評価損益	2025年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△1,212	△179	—	1,212	△1,033	—	1,033
その他有価証券	△27,833	△2,283	31,955	59,788	△25,549	19,253	44,803
株式	27,866	12,702	28,172	306	15,163	15,933	769
債券	△42,272	△15,502	281	42,554	△26,770	233	27,004
その他	△13,426	516	3,501	16,928	△13,942	3,086	17,029

② きらぼし銀行【単体】

(単位：百万円)

	2026年6月末				2025年6月末		
	評価損益	2025年 6月末比	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△578	174	—	578	△753	—	753
その他有価証券	△27,955	△2,494	29,799	57,754	△25,461	18,748	44,209
株式	25,920	11,230	26,226	306	14,690	15,455	765
債券	△41,346	△14,860	277	41,624	△26,486	256	26,743
その他	△12,529	1,135	3,295	15,824	△13,665	3,035	16,700



東京きらぼしフィナンシャルグループ
2027年3月期 第1四半期
決算概要

2027年3月期 第1四半期 決算サマリー

東京きらぼしFG(連結)

		(億円)				
		① 25/6 〈実績〉	② 26/6 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 27/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)
1	経常利益	83	120	+37	586	20.5%
2	親会社株主に帰属する四半期純利益	57	81	+23	400	20.3%

経常利益

前年同期比 **+44.7%**
(83億円 → 120億円)

親会社株主に帰属する 四半期純利益

前年同期比 **+40.8%**
(57億円 → 81億円)

きらぼし銀行(単体)

		(億円)				
		① 25/6 〈実績〉	② 26/6 〈実績〉	前年同期比 (②-①)	③ 27/3 〈業績予想〉	進捗率 (② / ③)
1	コア業務粗利益	209	253	+43	1,043	24.2%
2	資金利益	201	217	+16	953	—
3	貸出金利息	206	235	+29	1,002	—
4	有価証券利息配当金	36	43	+6	221	—
5	預金等利息	▲37	▲59	▲22	▲266	—
6	その他利息	▲5	▲2	+3	▲3	—
7	非金利収支	8	35	+26	89	—
8	経費	▲143	▲147	▲3	▲575	—
9	コア業務純益	66	106	+40	468	22.7%
10	与信関係費用	▲3	▲16	▲13	▲25	—
11	国債等債券損益	0	▲28	▲29	▲14	—
12	株式等関係損益	7	44	+36	61	—
13	その他臨時損益	6	4	▲2	6	—
14	経常利益	78	110	+32	497	22.2%
15	特別損益	1	▲0	▲1	▲2	—
16	法人税等合計	▲24	▲34	▲10	▲156	—
17	四半期純利益	55	75	+20	339	22.2%

注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示
注2:非金利収支=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

ポイント解説

▶ 預貸金利息：前年同期比 **+6億円**

…メイン化取引の推進や、政策金利引き上げにより、
預貸金利息(Net)が増加

		25/6	26/6	前年同期比
3	貸出金利息	206	235	+29
5	預金等利息	▲37	▲59	▲22
	預貸金利息(Net)	169	176	+6

▶ 非金利収支：前年同期比 **+26億円**

…役務取引等利益の増加や、
円債のヘッジコストの減少等によりその他業務利益が増加

		25/6	26/6	前年同期比
7	非金利収支	8	35	+26
	うち役務取引等利益	24	30	+5
	うちその他業務利益	▲15	5	+20

▶ 債券・株式等関係損益：前年同期比 **+7億円**

…債券の売却損が増加(▲26億円)した一方、
純投資株式の売却益が増加

		25/6	26/6	前年同期比
11	国債等債券損益	0	▲28	▲29
12	株式等関係損益	7	44	+36
	うち政策保有株式売却益	0	0	+0
	債券・株式等関係損益(Net)	8	15	+7

経常利益

前年同期比 **+41.2%**
(78億円 → 110億円)

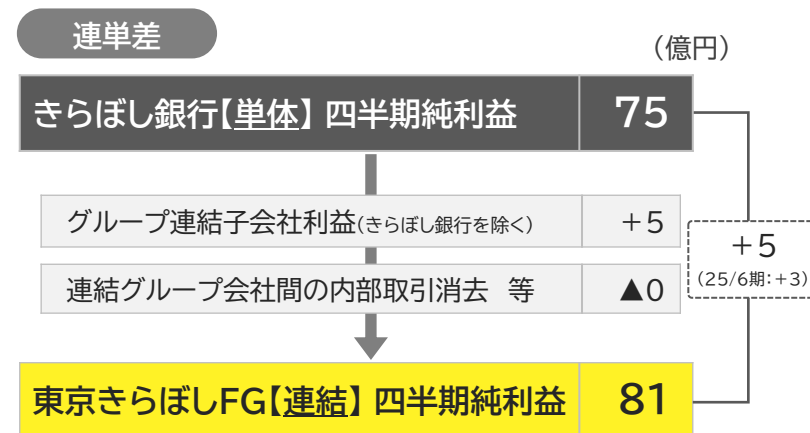
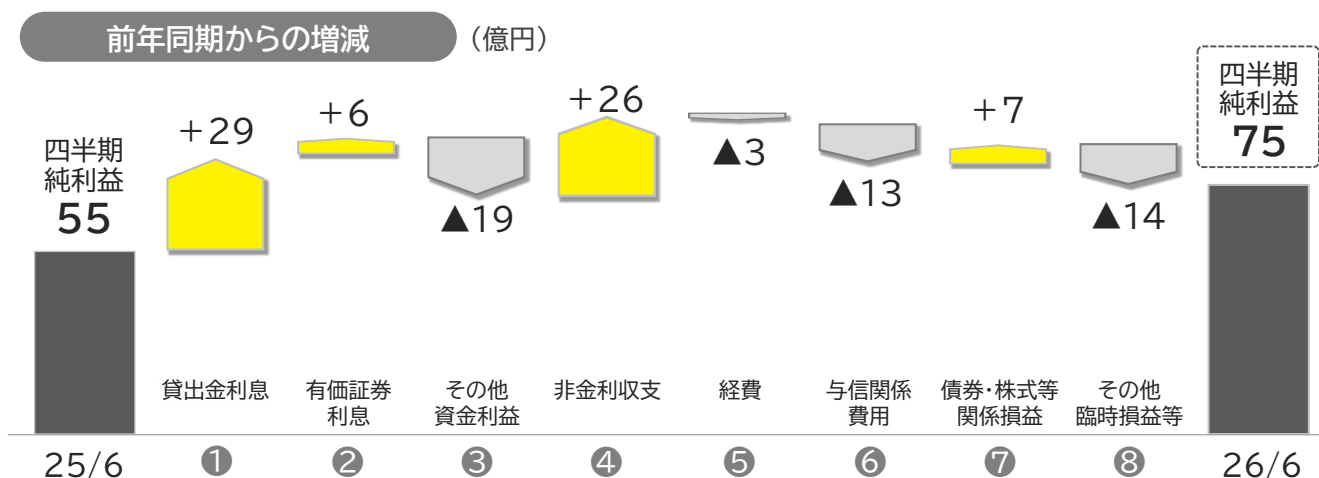
四半期純利益

前年同期比 **+37.1%**
(55億円 → 75億円)

四半期純利益の増減要因(きらぼし銀行)

※本頁の各計数の前年同期比の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

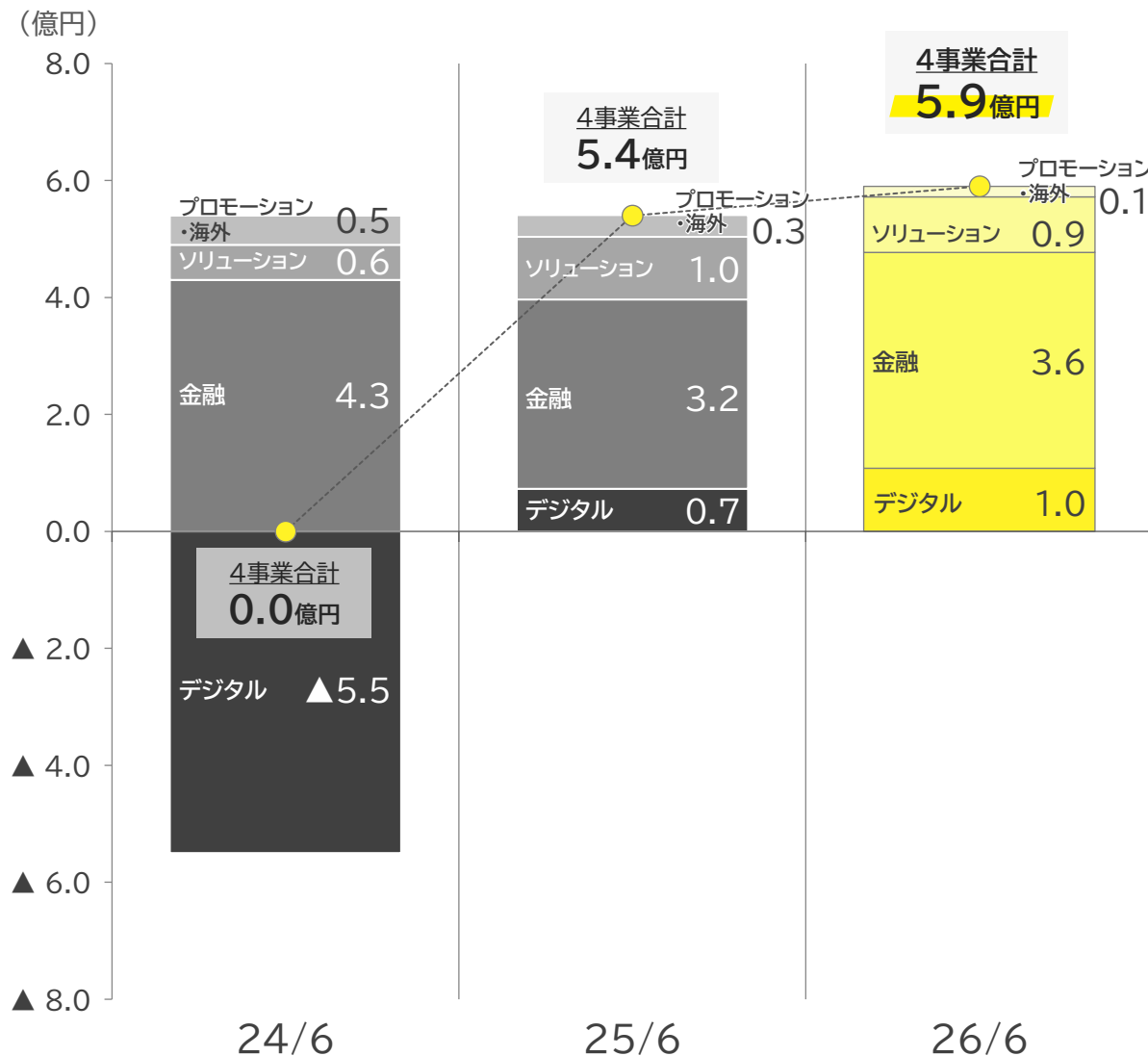
	主要項目	前年同期比	ポイント
①	貸出金利息	+29億円	メイン化取引の推進、お客さまとのリレーション強化の取組みにより貸出金が増加、また、政策金利上昇の影響等により貸出金利回りも上昇し、前年同期比+29億円
②	有価証券利息配当金	+6億円	ファンド収益の増加(+5億円)等により同比+6億円
③	その他資金利益 (預金等利息+その他利息)	▲19億円	金利上昇に伴う預金等利息の増加等により同比▲19億円 ▶ 預金等利息 【25/6期】▲37億円 → 【26/6期】▲59億円 (▲22億円) ▶ その他利息 【25/6期】▲5億円 → 【26/6期】▲2億円 (+3億円)
④	非金利収支 (信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く))	+26億円	円債のヘッジコストが減少したこと等により同比+26億円 ▶ 役務取引等利益(信託報酬含む) 【25/6期】24億円 → 【26/6期】30億円 (+5億円) ▶ その他業務利益 【25/6期】▲15億円 → 【26/6期】5億円 (+20億円)
⑤	経費	▲3億円	事務委託費等物件費の増加等により同比▲3億円
⑥	与信関係費用	▲13億円	一部大口先の信用悪化等による貸倒引当金の計上により同比▲13億円
⑦	債券・株式等関係損益	+7億円	債券の売却損が増加した一方、純投資株式の売却益が増加し同比+7億円 ▶ 国債等債券損益 【25/6期】0億円 → 【26/6期】▲28億円 (▲29億円) ▶ 株式等関係損益 【25/6期】7億円 → 【26/6期】44億円 (+36億円)
⑧	その他臨時損益 特別損益・法人税等合計	▲14億円	法人税等の増加(▲10億円)などにより同比▲14億円
	計	+20億円	



グループ会社利益（きらぼし銀行を除く）

グループ会社利益は5.9億円（前年同期比+0.5億円）、「デジタル事業」「金融事業」が前年同期比プラス
年度計画66億円に対し1Q時点の進捗率は低調であるものの、下期にかけて利益成長が加速する見込み

事業別グループ会社利益推移



デジタル事業

UI銀行
きらぼしテック

金融事業

東京きらぼしリース
きらぼしキャピタル
きらぼしライフデザイン証券
きらぼし債権回収
きらぼしインシュアランスエージェンシー
きらぼしJCB
きらぼし信用保証
八千代信用保証

ソリューション事業

きらぼしコンサルティング
きらぼしシステム
アイティーシー
きらぼしビジネスオフィスサービス

プロモーション・海外事業

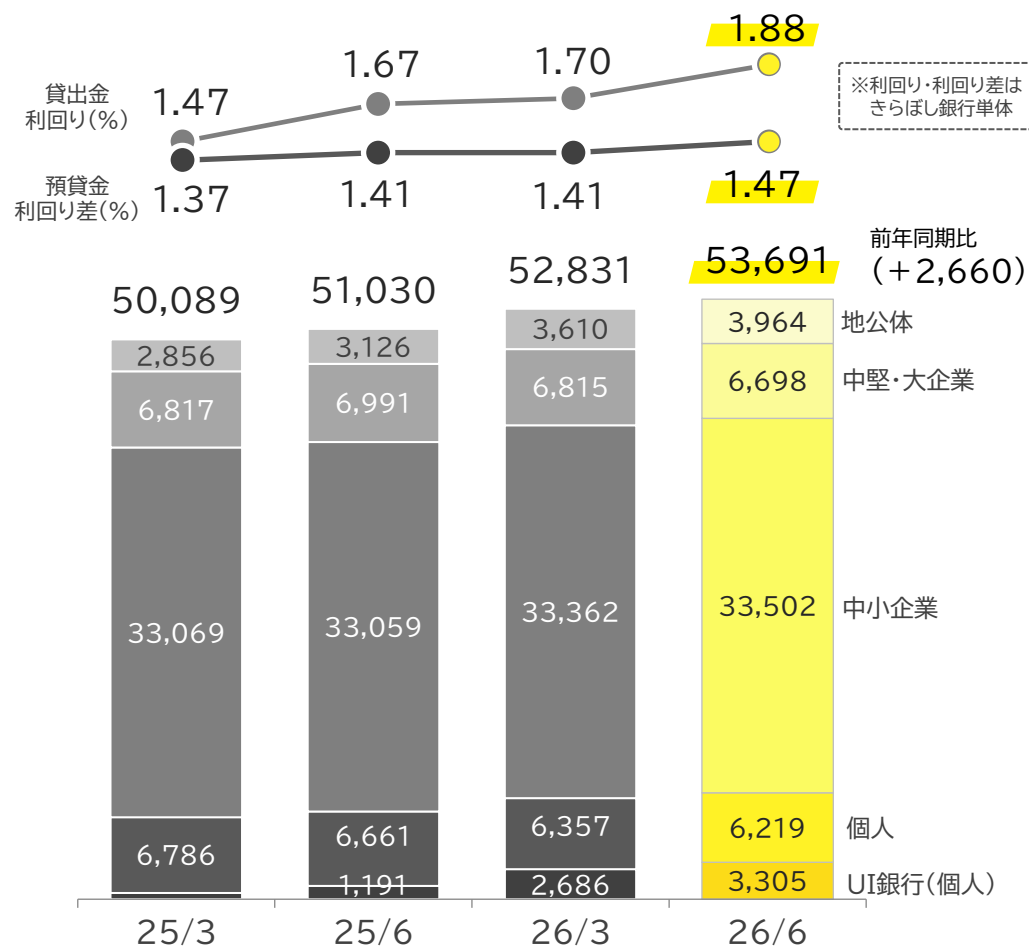
ビー・ブレーブ
きらぼしビジネスサービス
綺羅商務諮詢(上海)
信銘冠嘉商務諮詢(北京)
KIRABOSHI BUSINESS CONSULTING VIETNAM

貸出金・信託財産

メイン化取引の推進や政策金利上昇の影響等により、貸出金利回りが上昇し、預貸金利回り差が拡大
金利上昇に伴い預金等利息が増加する一方で貸出金利息も増加し、資金利益全体の増加基調は継続

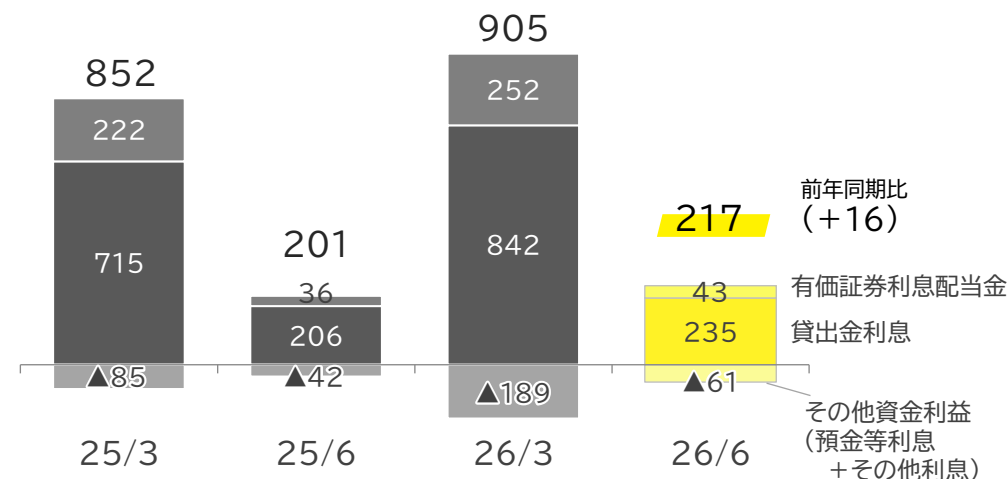
貸出金残高（グループ合算）（億円）

きらぼし銀行
UI銀行



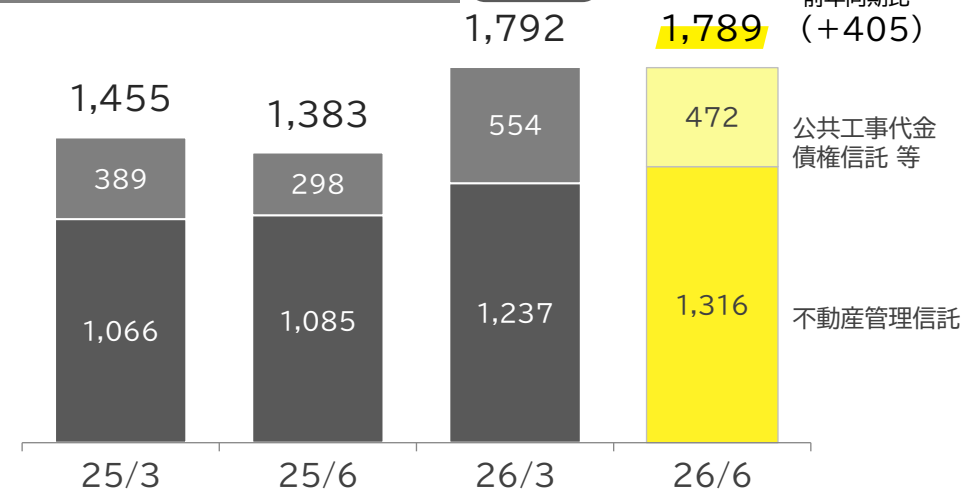
資金利益（億円）

きらぼし銀行



信託財産残高（億円）

きらぼし銀行



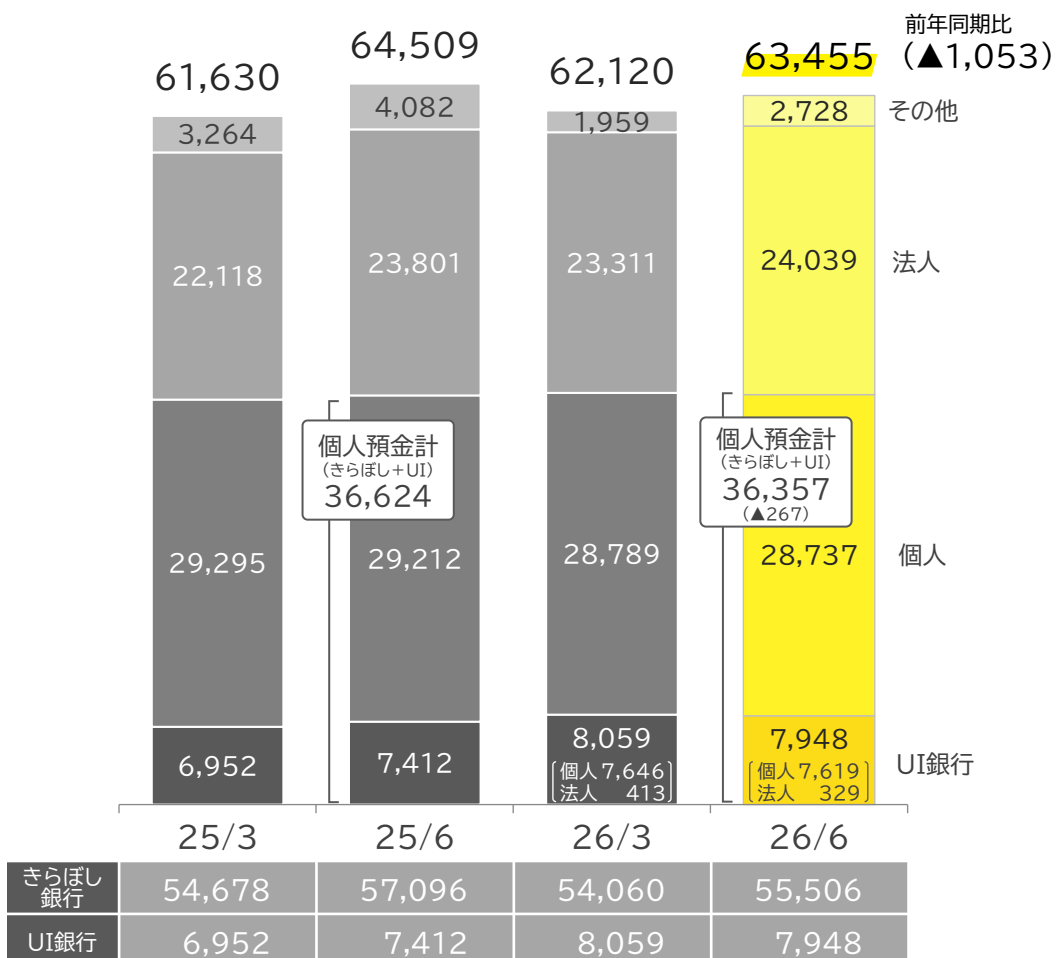
きらぼし銀行	49,530	49,838	50,145	50,386
UI銀行	559	1,191	2,686	3,305

預金・預かり資産残高

預金残高(グループ合算)は法人預金が増加した一方、その他(地公体等)や個人が減少し、前年同期比▲1,053億円
 預かり資産残高(グループ合算)は、KLD証券での投資信託の増加・他社からの株式移管等により同比+2,731億円

預金残高(グループ合算)(億円)

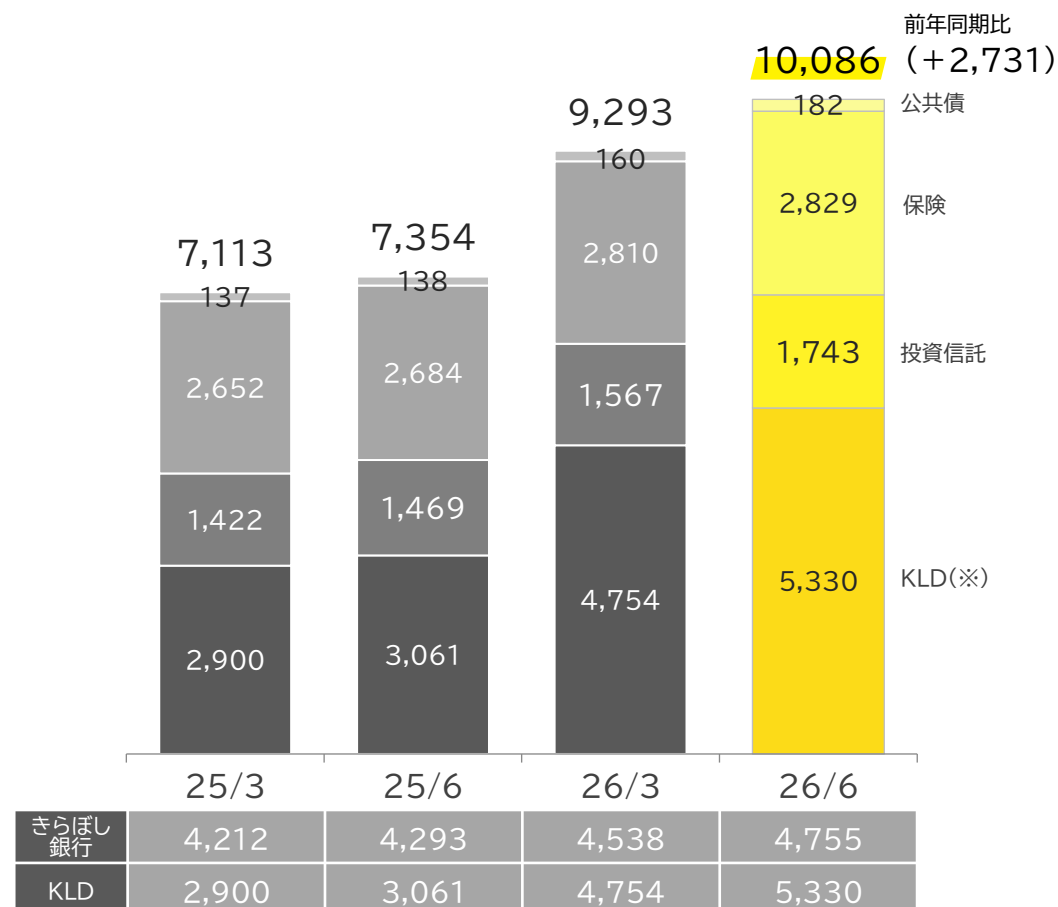
きらぼし銀行
UI銀行



※譲渡性預金を含まない
 ※25/6期以前のUI銀行の数値は「個人預金」のみ

預かり資産残高(グループ合算)(億円)

きらぼし銀行
KLD証券



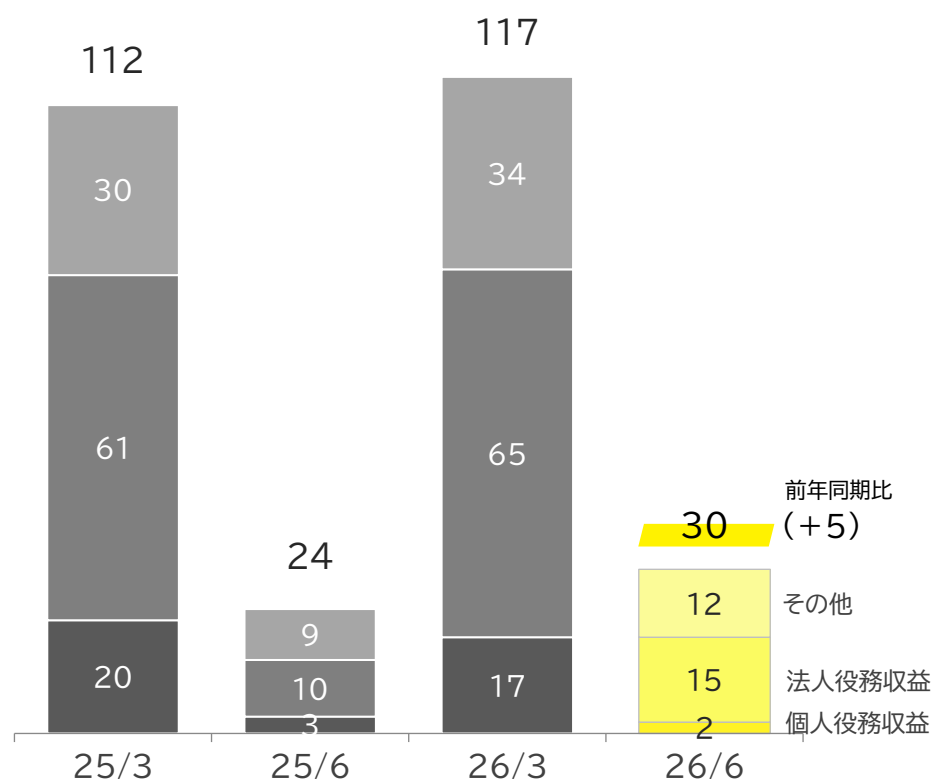
※KLD:きらぼしライフデザイン証券

役務取引等利益

法人役務収益はメイン化や事業性ファイナンス等に関連する収益が増加し、前年同期比+4億円
個人役務収益は同比微減した一方、きらぼしライフデザイン証券の手数料収益は着実に増加

役務取引等利益（億円）

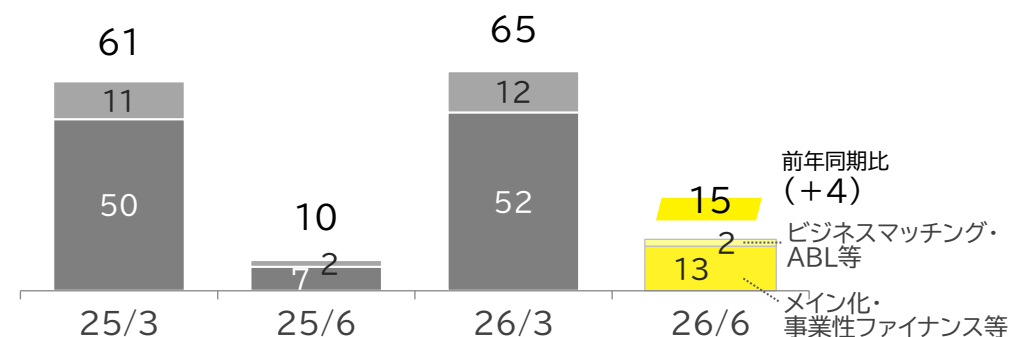
きらぼし銀行



法人役務収益（億円）

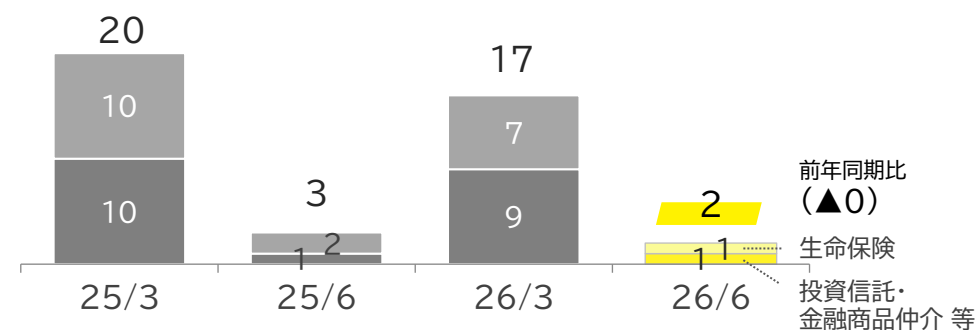
きらぼし銀行

※「法人役務収益」「個人役務収益」の内訳は内部管理計数による

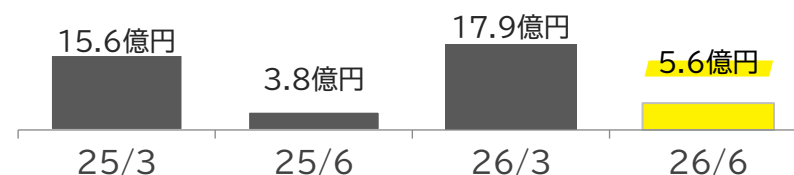


個人役務収益（億円）

きらぼし銀行



【参考】きらぼしライフデザイン証券手数料収益（※上記個人役務収益には含まれない）

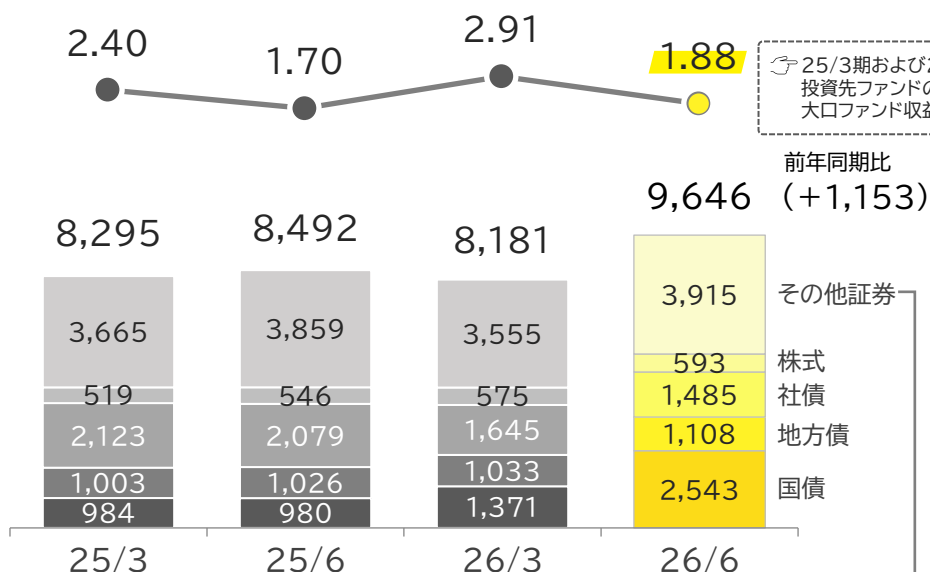


有価証券

短期債を中心に残高を積み上げ、有価証券残高は前年同期比+1,153億円
更なる金利上昇に備え、ヘッジオペレーションなどによるリスクコントロールを引き続き実施

有価証券残高・利回り（億円、％）

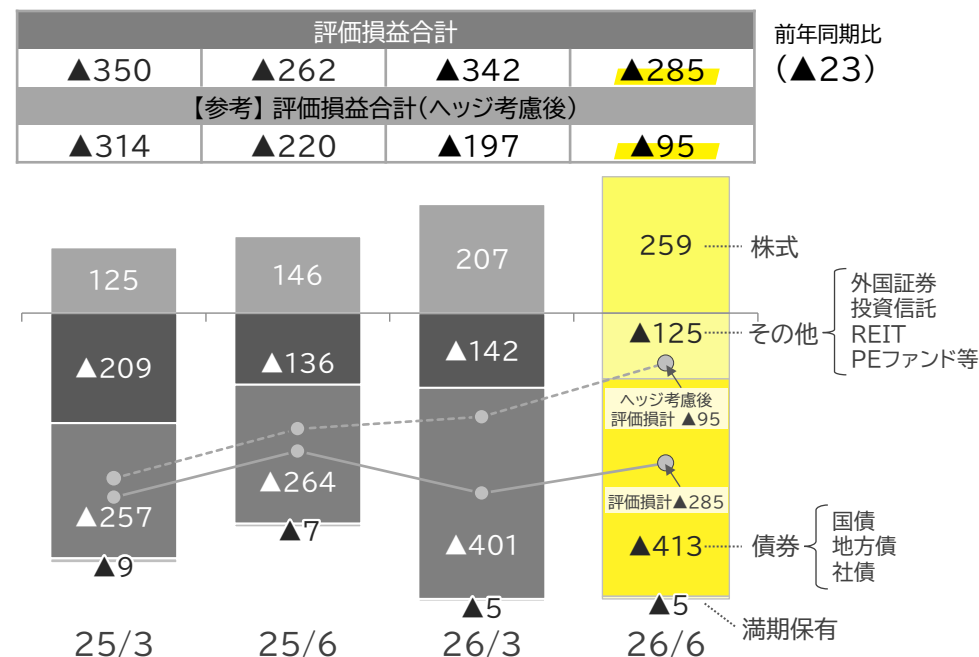
きらぼし銀行



25/3期および26/3期は
投資先ファンドのEXITによる
大口ファンド収益等を含む利回り

有価証券評価損益（億円）

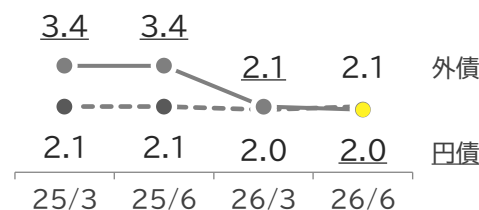
きらぼし銀行



前年同期比
(▲23)

デュレーション（年）

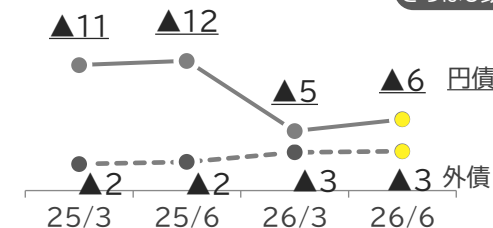
きらぼし銀行



※ヘッジ考慮後

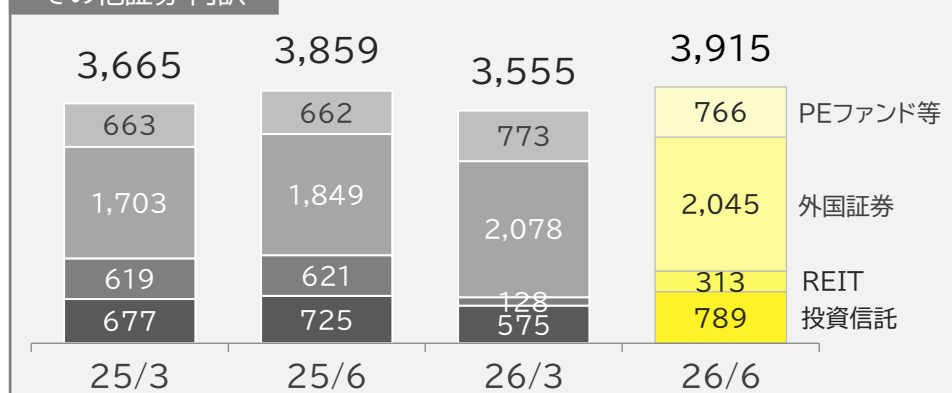
金利感応度（億円）

きらぼし銀行



※金利が10bp平行に上方シフトした場合の影響(投信除く)
※ヘッジ考慮後
※2026年3月期第3四半期開示分より計算基準変更
→2026年3月期第2四半期以前の開示とは連続性なし

その他証券 内訳

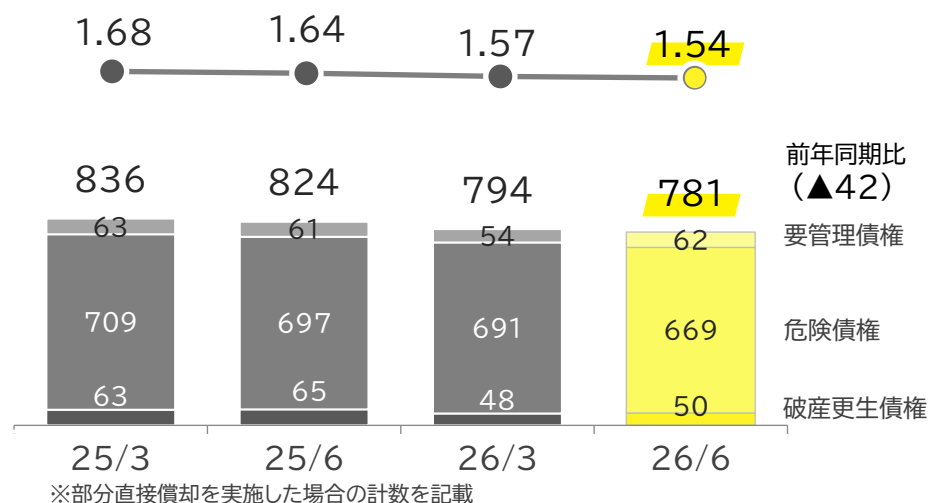


金融再生法開示債権・自己資本比率

与信費用は一部大口先の信用悪化等により費用が発生し、1Q時点で16億円(前年同期比13億円増加)
26年5月の優先株式償還(400億円)により自己資本が減少、自己資本比率は同比0.21%pt減少

開示債権額・比率 (きらぼし銀行) (億円、%)

きらぼし銀行



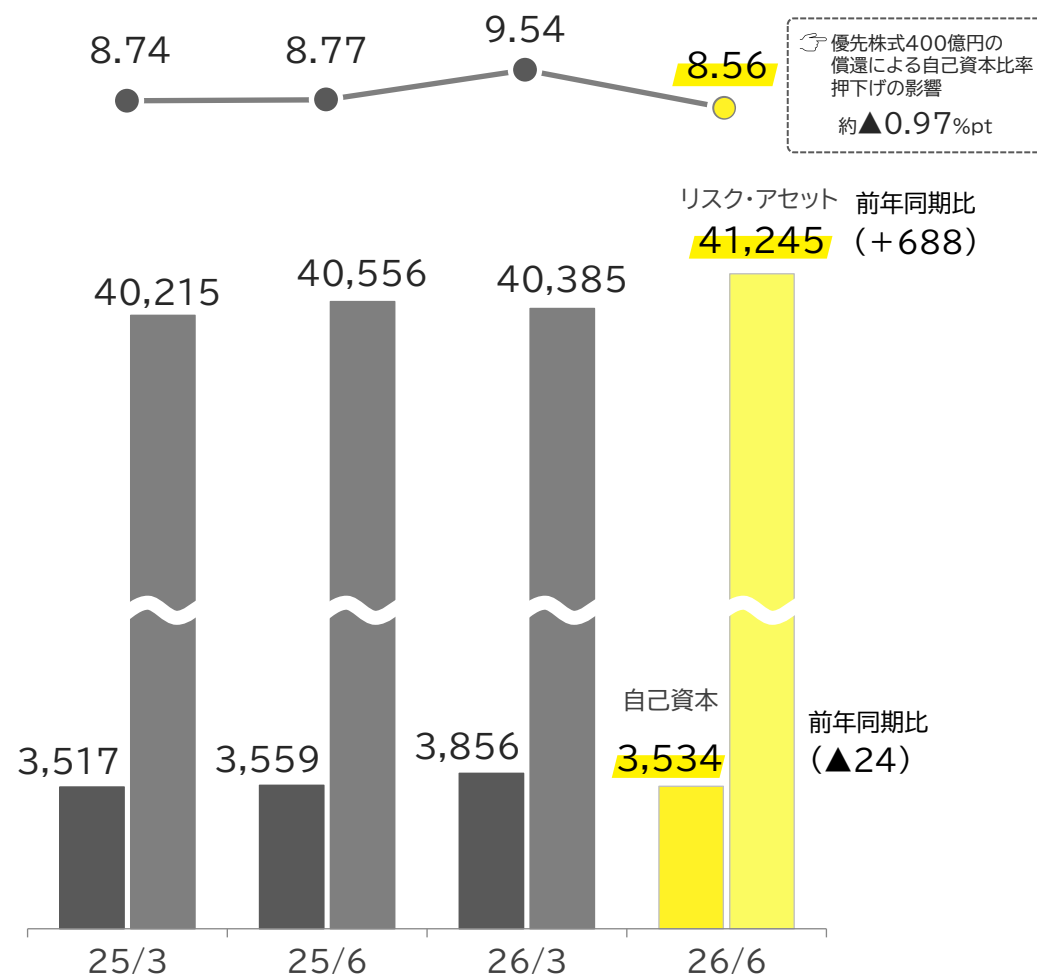
与信関係費用（きらぼし銀行）（億円）

きらぼし銀行

	25/6	26/6	前年同期比
① 一般貸倒引当金繰入額	▲0	0	+0
② 不良債権処理額	3	16	+13
うち個別貸引繰入額	1	15	+13
③ 貸倒引当金戻入益	—	—	—
与信関係費用 (①+②-③)	3	16	+13

自己資本比率 (東京きらぼしFG連結) (億円、%)

FG連結

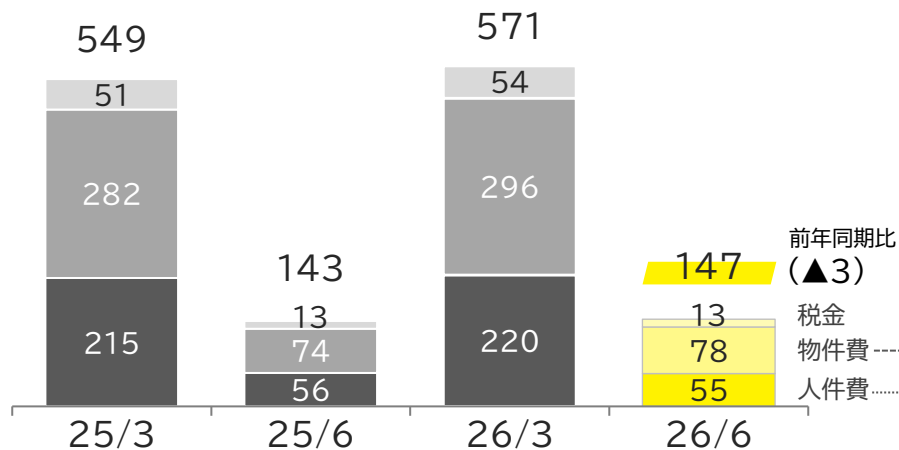


経費・コアOHR・ROE

経費が増加した一方で、コア業務粗利益の増加が寄与し、コアOHRは前年同期比10.4%pt改善
FG四半期純利益の増益により、ROEは前年同期比1.7%pt上昇、年度後半にかけて更なる上昇を見込む

経費（億円）

きらぼし銀行



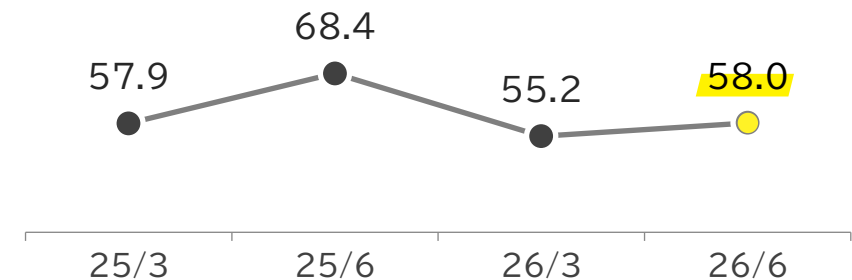
前年同期比 増減要因 (25/6 → 26/6)			(億円)
物件費	①業務委託費・経営管理料	▲3.2	↑
	②店舗賃料等	▲1.6	↑
	③減価償却費	+0.8	↓
人件費	④ベースアップ等	▲1.7	↑
	⑤退給費用	+0.6	↓
	⑥出向負担金	+1.9	↓

※経費の各計数の増減符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示

コアOHR（%）

きらぼし銀行

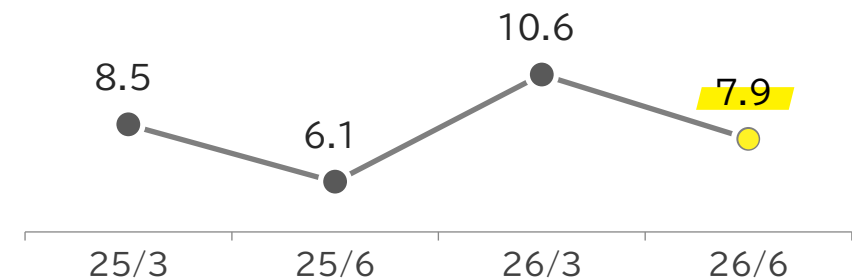
$$\text{※ コアOHR} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}} \times 100$$



ROE（%）

FG連結

$$\text{※ ROE} = \frac{\text{四半期純利益}/91日 \times 365日}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2} \times 100$$

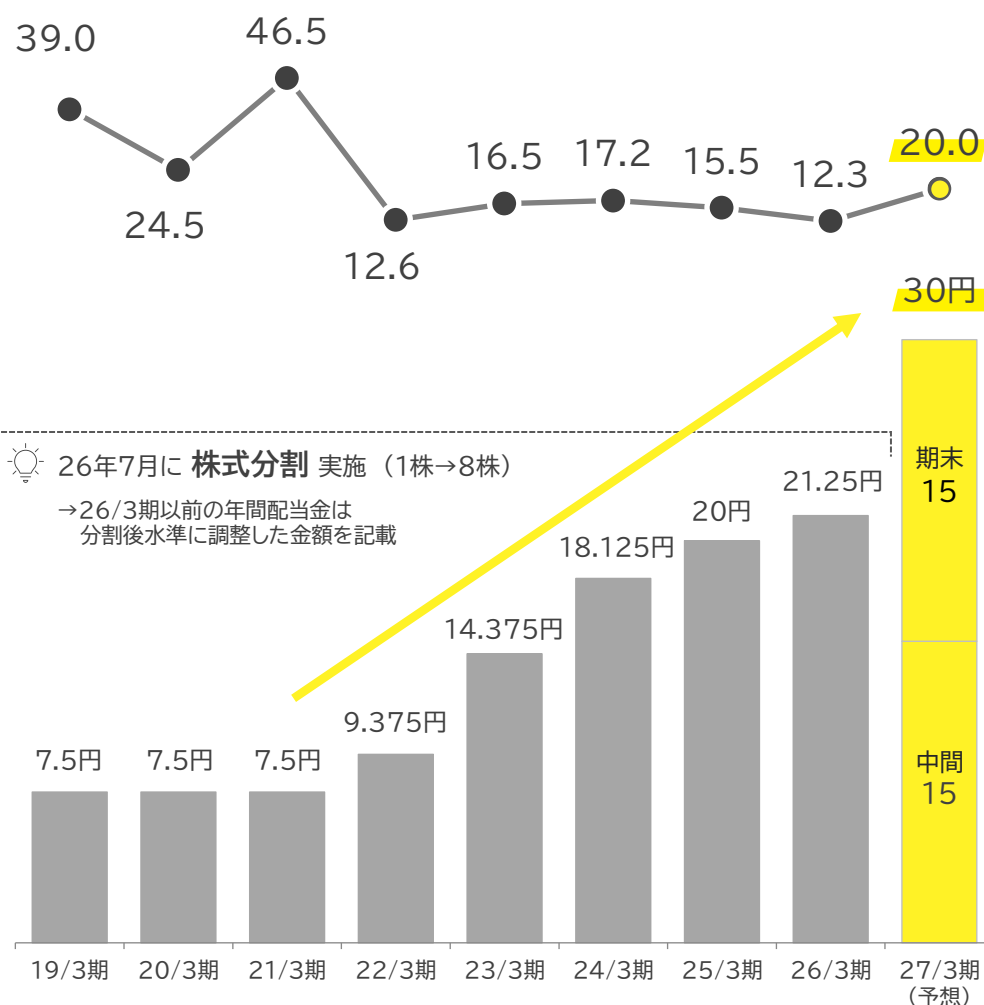


配当金・顧客向けサービス業務利益

2027年3月期の1株当たり年間配当金は6期連続の増配となる30円(株式分割後)予想
顧客向けサービス業務利益は貸出金残高の増加・預貸金利回り差の拡大等により前年同期比14億円増加

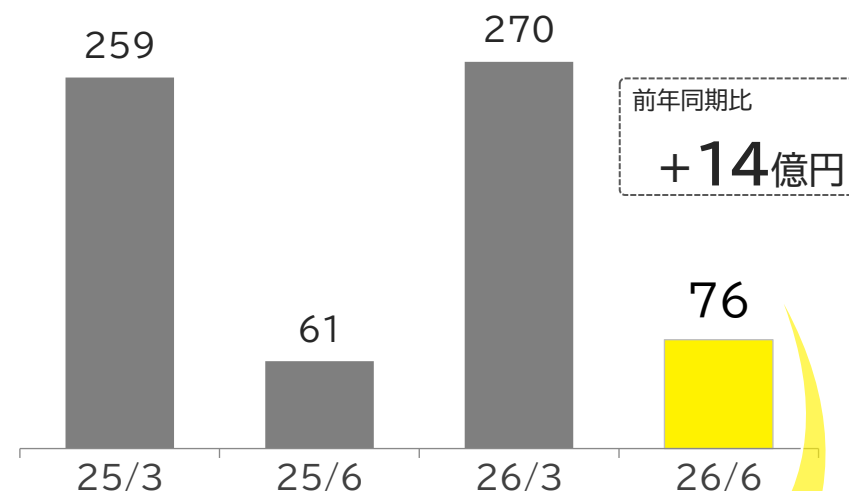
1株当たり年間配当金・配当性向（円、％）

FG連結



顧客向けサービス業務利益(※1)（億円）

きらぼし銀行



主な増加要因

増加：**貸出金残高**（前年同期比 +547億円）
預貸金利回り差（前年同期比 +0.06%pt）

※1 算出方法：（貸出金残高×預貸金利回り差）+ 役務取引等利益－営業経費
※2 役務取引等利益は、信託報酬を含む

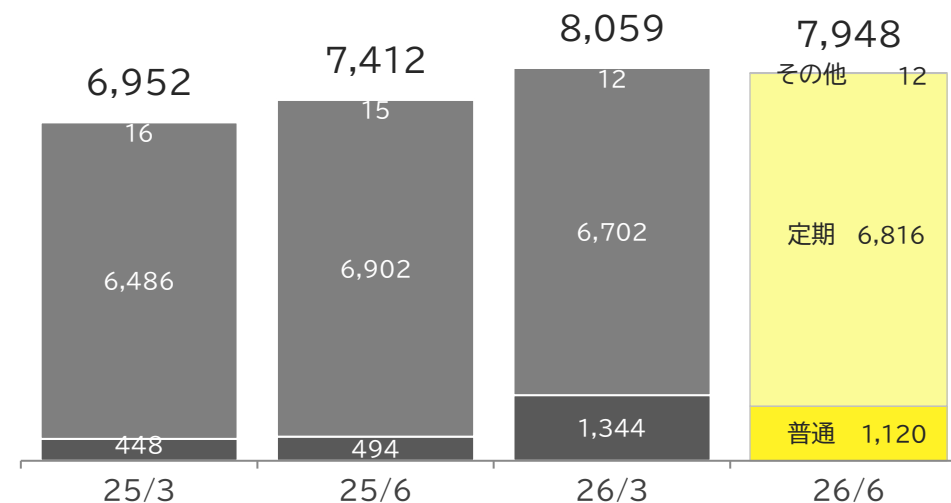
預金金利の上昇や預金残高の増加により預金利息は増加した一方、
ローン残高積み上げによる貸出金利息増加や、有価証券利息配当金の増加によりコア業務純益プラス計上

UI銀行 業績サマリー (億円)

		25/6 〈実績〉	26/6 〈実績〉	前年同期比
1	コア業務粗利益	10	17	+7
2	資金利益	1	8	+6
3	貸出金利息	13	16	+3
4	有価証券利息配当金	0	6	+5
5	預金利息	▲14	▲17	▲2
6	その他利息	2	3	+1
7	非金利収支 (融資手数料等)	9	9	+0
8	経費	▲12	▲13	▲1
9	コア業務純益	▲2	4	+6
10	与信関係費用	▲0	▲0	▲0
11	国債等債券損益	3	▲2	▲6
12	経常利益	0	0	▲0
13	四半期純利益	0	0	▲0

注1:本頁の各計数の符号は、利益の増加は「+」、利益の減少は「▲」で表示
注2:非金利収支=信託報酬+役務取引等利益+その他業務利益(国債等債券損益を除く)

預金残高推移 (億円)



ローン残高推移 (億円)

